



RPA (Robotic Process Automation) と IT 導入補助金



吉村健太 徳島県よろず支援拠点コーディネーター

中小、零細企業者のあらゆる経営上の悩みに対応するため、(公財)とくしま産業振興機構内に「徳島県よろず支援拠点」を開設しています。皆様のお役に立ちそうな支援内容を「徳島県よろず支援拠点」のコーディネーターが交代で紹介していきます。

IT コーディネーターの吉村です。徳島県よろず支援拠点では、IT 活用・人手不足対応のコーディネーターとして週 1 回程度勤務しております。

2019 年度より徳島県よろず支援拠点のコーディネーターを拝命し、様々な内容のご相談をお受けしてきましたが、最近流行りの RPA と IT 導入補助金について紹介いたします。

[RPA とは]

RPA (Robotic Process Automation) とは、定型的な業務 (ルーチンワーク) を自動化する技術です。人が行っていた業務を自動化することで、働き方改革の推進や、昨今の人手不足に対する解決策としても期待されています。

人がやるべき業務を代わって行うことから、「Digital Labor (仮想的労働者)」とも呼ばれます。

[RPA でできること]

先に書きましたが、基本的には定型的な業務をすることができ

ます。毎月の請求書発行やメール送信、また、決まった情報収集などは RPA にうってつけだといえます。

逆に、判断を必要とするような業務については RPA での対応が難しくなります。

上記請求書やメール送信も、定型的なことでなく、データがない状態で人の判断の上で行わなければならない業務は RPA での対応が難しい場合もあります。

[AI やマクロとの違い]

RPA と並び、最近よく聞く「AI」、また定型業務を自動化するといえば「マクロ」、これらとの違いは何でしょうか。

AI は「人工知能」といわれ、収集したデータをもとに学習ができ、そこからの判断が可能ということが特徴です。

定形外業務が苦手な RPA に組み込むことで、複雑な業務の自動化に役立てられるようになりました。

Microsoft Excel 内のマクロは、Excel 内での作業を記録して繰り返すことのできる機能です。定型的な業務を繰り返すことは RPA と同じですが、Excel 内のことに限定される上、VBA といわれるプログラム言語を用いて記述するため、専門的な知識が必要になってきます。

[RPA のメリット]

RPA を導入すると、何がよいことがあるのでしょうか。人は得

てして変えることを嫌がります。面倒だからではないでしょうか。その面倒なことをしてでも導入するメリット

人の手を介さずに (ほとんど使わずに) 業務を遂行できるように

- ・コスト削減
- ・人手不足対応
- ・人依存からの脱却

人が行うよりたいていの場合、早いために

- ・納期短縮

コンピュータの特徴として、正確な指示を出せば正確に動作するために

- ・ミスがなくなる

[RPA の導入]

無料で使える RPA、パソコン 1 台から手軽に始めることができる RPA もあります。

まずはお手軽に導入し、個人の業務を自分なりに自動化していただくことをお勧めします。

感覚が分かれば、どんなことを RPA に置き換えることができるのかも見えてくるのではないのでしょうか。

[IT 導入補助金とは]

中小企業・小規模事業者の皆様が IT ツール導入に活用する補助金です。

通常枠 (A 類型・B 類型)・デジタル化基盤導入枠・セキュリティ



推進対策枠があります。

他の補助金と少し違い、IT 導入補助金ではIT ベンダーが「IT 導入支援事業者」に登録し、かつそのIT 導入支援事業者がIT ツールを登録します。

補助対象経費は、「IT 導入支援事業者」に対する支払いであり、登録されたIT ツールへの支出である必要があります。

申請の手順としては、まず必要なIT ツールをIT 導入補助金2022の公式サイト (<https://www.it-hojo.jp/>) より検索し、登録してあるIT 導入支援事業者に連絡の上、支援を受ける必要があります。

【補助対象者】

中小企業、小規模事業者であります。それぞれの定義については割愛します。公募要領をご確認ください。

IPA（独立行政法人情報処理推進機構）が実施する情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度、「SECURITY ACTION」の宣言と、電子申請に必要なgBizIDの取得が必要になります。

【補助対象経費】

ソフトウェア購入費、クラウド利用料、導入関連費。デジタル化基盤導入枠（デジタル化基盤導入類型）はそれらに加えハードウェア購入費が対象です。

IT ツールとして登録されたソフトウェアについてはそれぞれにプロセスが定義されており、類型により、1～4以上のプロセスを含んでいなければ申請できないため注意が必要です。

【補助額・補助率】

通常枠

A類型

補助対象経費区分：ソフトウェア購入費・クラウド利用料（1年分）・導入関連費

補助率：1/2以内

補助額：30万円～150万円未満

B類型

補助対象経費区分：ソフトウェア購入費・クラウド利用料（1年分）・導入関連費

補助率：1/2以内

補助額：150万円～450万円以下

デジタル化基盤導入枠

デジタル化基盤導入類型

補助対象経費区分：ソフトウェア購入費・クラウド利用料（2年分）・導入関連費

補助率：3/4以内 補助額：5万円～50万円以下

補助率：2/3以内 補助額：50万円～超350万円

ハードウェア購入費

PC・タブレット・プリンター・スキャナー及びそれらの複合機器：補助率1/2以内、補助上限額10万円

レジ・券売機等：補助率1/2以内、補助上限額20万円

セキュリティ対策推進枠

補助額：5万円～100万円

補助率：1/2以内

機能要件：独立行政法人情報処理推進機構が公表する「サイバーセキュリティお助け隊サービスリスト」に掲載されているいずれかのサービス

補助対象：サービス利用料（最大2年分）

大きな特徴は、デジタル化基盤導入枠においては、ハードウェアの購入費まで補助されるということでしょうか。ただし、有料のIT ツールも必須のため、パソコンのみ購入しその補助をしてもらう…という使い方はできません。

また、通常枠以外ではクラウド利用料が最大2年分補助されるということも見逃せません。

【スケジュール】

執筆時点での残スケジュールです。

通常枠

A・B類型

6次締切：10月 3日（月）17:00

7次締切：10月31日（月）17:00予定

8次締切：11月28日（月）17:00予定

デジタル化基盤導入枠

デジタル化基盤導入類型

11次締切：9月20日（火）17:00

12次締切：10月 3日（月）17:00

13次締切：10月17日（月）17:00予定

14次締切：10月31日（月）17:00予定

15次締切：11月14日（月）17:00予定

16次締切：11月28日（月）17:00予定

セキュリティ対策推進枠

2次締切：10月 3日（月）17:00

3次締切：10月31日（月）17:00予定

4次締切：11月28日（月）17:00予定

※参考・引用：<https://www.it-hojo.jp/>

よろず支援拠点の連絡先は以下のとおりです。

徳島県よろず支援拠点

徳島県徳島市南末広町5番8-8

徳島経済産業会館2階

よろずにゴー

電話088-676-4625

HP <https://yoro-zu-tokushima.go.jp/>

受付時間

【平日】9:00～17:45

【休日相談会】

●第2・第4日曜日

10:00～17:00

徳島駅前ポッポ街

●第1・第3土曜日

10:15～17:00

アミコビル9F

（最新情報を確認して下さい）

新型コロナウイルスに関する
経営相談窓口を設置しております。
相談希望の方は上記、徳島県
よろず支援拠点にご連絡ください。